

3 博物館実習

本実習は、大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。開設日時、カリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月18日(木)	9:30～10:45	開講あいさつ・館長講話
	10:45～11:30	オリエンテーション
	11:30～12:00	ミニ企画展実習①(概論)
	13:00～14:00	講座①「美術館の展示環境」
	14:00～15:00	展覧会見学①「所蔵作品展」
8月19日(金)	9:30～12:00	作品取扱い実習・調書作成①(平面)
	13:00～15:00	作品取扱い実習・調書作成②(立体)
	15:00～16:00	講座②「美術館と学芸活動」
8月20日(土)	9:30～10:30	展覧会を取材する(館内取材・資料調査)
	10:30～12:00	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)
	13:00～14:00	ミニ企画展実習②(企画一討議)
	14:00～16:00	ミニ企画展実習③(企画一立案)
8月22日(月)	9:30～12:00	ミニ企画展実習④(企画一集約)
	13:00～16:00	ミニ企画展実習⑤(企画一制作)
8月23日(火)	9:30～12:00	ミニ企画展実習⑥(企画一発表準備)
	13:00～14:30	ミニ企画展実習⑦(発表)
	15:00～16:00	受講生ディスカッション

受講生所属大学

大谷大学、尾道市立大学、広島女学院大学、比治山大学、安田女子大学、立命館大学、広島市立大学、広島大学、東海大学、京都造形芸術大学、日本大学(11大学23名)

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、当館2階で開催する所蔵作品展について、5点程度の作品で構成する展示を企画することを課題とした。受講生は全4班に分かれて、所蔵作品の文献調査を行ないつつ、多角的な視点による企画立案に結びつけた。あわせて、広報イメージ、ワークシート、関連イベント等を考案し、企画内容のプレゼンテーションを行なった。なお、提案された企画の展示タイトル及び展示作品は次の通りである。

①	月の見え方ー国境を超えてー 吉原英雄《版画集『ペットショップ』より デューラーの兎》、今井政之《象嵌彩窯変磯蟹大皿》、清水南山《獅子図手板》、船越保武《若い女(横顔)》、奥田元宋《待月》
②	愛と共によりそう 大村廣陽《南苑》、圓鏗勝三《途上》、名井萬亀《一家団欒》、吉原英雄《版画集『ペットショップ』より ランチ・タイム》、北ヨムート族トルクメン人《花嫁用頭飾り》、和高節二《眠る子》
③	目と目 吉原英雄《版画集『ペットショップ』より 蟻の観察》、久保田辰男《家族》、児玉希望《猿猴捉月》、藤川素子《流転》、《伊万里柿右衛門様式色絵馬》
④	贈り物の美～あなたへのメッセージ～ 清水南山《猫金具付小児用手提》、北ヨムート族トルクメン人《花嫁用頭飾り》、北ヨムート族トルクメン人《花嫁用頭飾り》、鬚光《コミサ(洋傘による少女)》、水谷愛子《祐太と亮ちゃん》